

# 公式記録

マッチコミッショナー	主 審
田中 哲也	福川 源生

大会名：平成30年度 第40回 九州高等学校（U-17）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会） マッチNo. [24]

日 時	2019年2月17日 11:30	試合形式	60分	会 場	熊本県民総合運動公園スポーツ広場（人工芝）						
天 候	晴れ時々くもり	気 温	8.0℃	湿 度	53.0%	風	無し	ピ ッ チ 状 態	芝	観 客 数	200人
マッチコミッショナー	田中 哲也	副 審 1	森下 悠里	第 4 の 審 判	山本 聖也	芝	人工芝				
主 審	福川 源生	副 審 2	小林 輝	記 録 担 当	杉本 陽一	表 面	乾燥				

大分県立大分工業高等学校	1	1	前 半	0	2	私立筑陽学園高等学校
		0	後 半	2		
			延長前半			
			延長後半			

Kick off

Kick off

交代		シ ャ ッ ト					得点	選 手 名	番 号	位 置	位 置	番 号	選 手 名	得点	シ ャ ッ ト					交代			
No.	out時間	延後	延前	後半	前半	計									計	前半	後半	延前	延後	out時間	No.		
				1		1	加 藤 享 佑	1	GK	GK	1	野 中 友 柳											
							安 達 凜	2	DF	DF	2	今 田 光											
							真 砂 陸	3	DF	DF	3	益 永 望 光											
							小 野 将 人	4	DF	DF	4	吉 村 颯 真	1	2	1	1							
					1	1	内 田 孝 介	16	DF	DF	5	大 塚 劍 士		1		1							
12	60分						岩 崎 嘉 人	6	MF	MF	6	古 賀 健 琉		1		1							
							深 野 晃 樹	7	MF	MF	7	古 賀 敬 仁		2	2								
							明 石 龍 弥	8	MF	MF	8	笹 隈 隼 人		2	1	1						56分	13
					1	1	前 原 侑 己	9	FW	MF	9	過 能 工 太 郎	1	1		1							
					1	1	高 野 康 巳	10	FW	MF	20	藤 隆 成										20分	12
					1	1	三 重 野 千 尋	11	FW	FW	10	寺 岡 聖 斗											
							河 野 蓮 也	17	GK	GK	17	井 本 匡 哉											
							安 倍 海 斗	5	DF	DF	15	牟 田 愁 平											
							仲 摩 和 武	19	DF	DF	18	船 原 零 央											
							堀 内 雄 斗	13	MF	DF	19	上 甲 隼 輔											
							大 峯 翔	14	MF	MF	13	南 部 空 我											
							毛 藤 順 一 郎	15	MF	MF	14	栗 尾 瑠 瑠											
							関 雅 人	20	MF	FW	11	深 松 大 雅											
							岩 本 翼	12	FW	FW	12	深 岩 崎 巧											
							久 下 智 輝	18	FW	FW	16	塩 塚 玲 生											

警 告 ・ 退 場				監 督				警 告 ・ 退 場						
時間	区分	No.	氏 名	理由	友 成 義 朗				青 柳 良 久					
25分	警	11	三 重 野 千 尋	ラフ	延後	延前	後半	前半	チ ャ ッ ト 合 計	前 半	後 半	延 前	延 後	
					0	0	3	3	6	9	4	5	0	0
							5	4	9	4	3	1		
							1	0	1	3	1	2		
							4	8	12	8	3	5		
							3	2	5	2	2	0		
							(2)	2	(4)	(1)	(1)	0		
									PK					

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過記録例]：〜ドリブル、〜ゴロのパス、↑浮き球パス、×混戦、Sシュート、Hヘディング												
2分	大分工	11	三 重 野 千 尋	1-0	中央	8	↑	11	ダイレクト	右足S							
35分	筑陽学園	9	過 能 工 太 郎	1-1	中央	混戦	こぼれ玉	9	2タッチ以上	右足S							
49分	筑陽学園	4	吉 村 颯 真	2-1	中央	5	FK	↑	混戦	こぼれ球	4	右足S					
P K 戦 の 経 過																	
		1		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	

【試合時間】 前半：[:]、後半：[:]、合計：[:]

【戦 評】 大分工業高校4-4-2、筑陽学園高校4-2-3-1のシステムで試合開始した。試合開始早々に先制した大分工業は長短正確なパスワークを駆使し、MF⑩三重野のスピードを生かした突破や、FW⑩高野の個人技などスピーディーで厚みのある攻撃を展開する。一方、筑陽学園はFW⑩寺岡にロングボールを供給し、そこへMF⑨過能を中心とする中盤の選手が効果的に関わり攻撃に結びつけるとともに、ロングボールやセットプレーで大分工業ゴールに迫る。後半になるとセカンドボール争い、空中戦に勝る筑陽学園が徐々に試合の流れを掴み、逆転勝利を勝ち取った。

【記入者：中山 恵太】